

本気で学びたい学生に、本気で応える大学へ。

2026年4月、金城学院大学は新たに2つの学部と5つ学科が誕生し、7学部12学科の新体制へ。さらに、「プロジェクト活動」「学科連携教育」「キャリア教育」という3つの「教育の柱」を打ち立て、これからの社会で求められる力を育成します。この新たな学びの体制を表すメッセージは、「ガチれる大学。」。本気で学びたい、臆することなく挑戦したいという学生に、本気で応える大学へと生まれ変わります。「ガチれる大学。」その力強いスローガンに込めた思いは。そして2026年、金城学院大学はどう変わっていくのか。教務部長の北森一哉先生と、学長補佐の岩崎公弥子先生に話を聞きました。



2026年に向けての教育改革を推進してきた岩崎公弥子先生と北森一哉先生

社会はいま、複雑な課題に本気で取り組む力を求めている。

現代の若者は、タイパ(タイムパフォーマンス)やコスパ(コストパフォーマンス)を重視する傾向があるとされています。しかしその一方で、心から打ち込める「こと」や「場所」を求め、何かを成し遂げたいと願う若者も少なくありません。本学にも、本気で真剣に学び、大きく成長して、社会へと羽ばたいていった卒業生がたくさんいます。ただ、自らの「本気」を向ける対象にまだ出会えていない学生が少なからずいるのも現実です。こうした時代において、金城学院大学が果たすべき役割は明確です。それは、学生一人ひとりが「本気

で物ごとに向き合う力」を育むこと。そのために本学では、学生が「自分に向いていること」や「本気になれること」に出会うプロセスを何よりも大切にしています。気になる授業に積極的に参加したり、社会とつながって、多様な背景を持つ人々と交流したり。そんな経験の積み重ねが、自分自身の「これだ」と思えるものに出会う力を育てていくからです。本気になれる何かを見つけにきてほしい。本気でぶつかり、本気の成長を遂げてほしい。それを可能にする場所と機会を提供し、全力で応援するのが金城学院大学なのです。

「ガチれる大学。」をスローガンに、金城学院大学が本気で挑む教育改革とは。

2026年に向けて、金城学院大学は、学生の成長を真剣に支え、学生が未来を切り拓くための本気の教育改革に挑みます。その覚悟のもと、カリキュラムと学びの体制を大きく刷新。2学部5学科の新設に加え、「プロジェクト活動」「学科連携教育」「キャリア教育」という3つの柱を中心に、社会と深くつながる実践的な学びを全学的に展開します。教職員もまた、本気で真剣に学生と向き合い、ともに学び、ともに挑み続ける姿勢を貫き、学生の成長を全力で支えます。さらに、「HARAPPA」「デザインスタジオ」「クリエイティブベースキャンプ」「ファブスタジオ」など、学生が主体的に学び、仲間と協働しながら、挑戦する意欲と探究心を育む新たな空間を整備。プロジェクト活動や創造的な実践の場を広げ、キャン

パス全体が、“リアルな学びの現場”として進化します。「ガチれる」という言葉に、驚かれた方もいらっしゃるかもしれません。しかし、この一語には、「本気で学びたい学生に、本気で応える大学」という2026年の金城学院大学のビジョンが詰め込まれています。同時に、金城生は「おとなしい」「おしとやか」といった世間のイメージを打ち破り、次代を担う女性リーダーを育てる大学として、新たな姿を発信していく決意も表しています。「ガチれる大学。」とは、これまでの歩みに新たな一歩を加え、学生・教職員・社会が一体となって変革に挑む——その決意の象徴でもあるのです。2026年春。金城学院大学は、「本気」と「真剣」を武器に、真っ向勝負の教育改革をスタートさせます。



HARAPPA (情報デザイン学科)



デザインスタジオ (建築デザイン学科)



クリエイティブベースキャンプ (経営学科・情報デザイン学科)

※上記の写真はいずれもイメージです。

2026年、金城学院大学は大きく変わります。

教育の柱

1 プロジェクト活動

課題を発見し
解決する力

把握・分析し
対応する力



身につく4つの力

就職活動で**武器**になる!

就職活動で周囲と差をつけ、
社会人としての活躍に
大いに役立つ4つの力を、
早期から着実に身につける
ことができます。



新しいことに
挑戦する力



協調性と
自己統制力

2026年からすべての学科で導入する「プロジェクト科目」は、企業や自治体と連携した課題解決型の教育プログラム。チームで社会課題の解決に挑むことで、実践的なスキルと社会に貢献する力を養います。本学では以前よりこの活動に力を入れており、プロジェクトの科目数は東海地区の私立大学でNo.1。オリジナルの旅行プランを立案したり、自分のアイデアが実際に商品化されたりと、主体的な取り組みが成果に直結する体験も多数。こうした「本気の学び」は就職活動でも大きな強みとなります。

PICK UP | プロジェクトの一部をピックアップ



エアラインプログラム



傘カバの企画・開発・販売

教育の柱

2 学科連携教育

文・理をはじめ、多彩な分野がひとつのキャンパスに集う環境を強みに、学科の枠を越えて学ぶ「学科連携教育」を展開。異なる専門性を持つ学びを組み合わせることで興味や関心の幅を広げ、社会で活躍するための柔軟な視点と素養を養います。たとえば、管理栄養士・精神保健福祉士・公認心理師・薬剤師・看護師をめざす学生たちがともに学ぶ「多職種連携授業」は、医療系4学科が協働する全国でも希少な取り組み。チーム医療の現場を見据えた実践的な学びが、医療のより良い未来を拓く力を育みます。

教育の柱

3 キャリア教育

“就職に強い”と定評のある本学では、1年次からキャリアを見据えた授業を行い、卒業まで継続してサポート。さらに、これまで有料としてきた資格取得の講座も無料に。また、これまでは授業外の任意参加で行っていたSPI対策、自己分析、企業研究も授業として実施します。「社会に出る前にビジネスマネーやお金のことも学びたい」という学生の声をもとに生まれた「リクエスト科目」では多彩な分野の専門家を講師として招き、実践的なスキルや知識を体系的に学ぶことができます。

2026年から、新たに2つの学部と5つの学科が誕生。
7学部12学科が集うワンキャンパスで、学生の本気に応えます。

文学部

国際英語学科

高度な英語コミュニケーション能力を習得するとともに、英語圏の文化や英語研究を通して明晰な思考力を養成。さらに5つのプログラムで社会で活躍できる実践力を育み、自ら課題を見つけ解決に向けて行動できる主体性ある人材を育てます。

文学部

総合歴史学科

国境を越え、文化・民族・地域の視点から歴史を探究する「グローバルヒストリー」という新たな歴史の捉え方を取り入れ、自分自身の興味に合わせた自由な発想で歴史を探究。固定観念にとられない広い視座を持つ人材を育成します。



7学部12学科の詳細な情報は
ココをチェック!

経営学部

経営学科

経営学は、自分自身を含めたチームや組織、社会全体の成長を支える学問です。本学では、経営戦略、マーケティング、広告、簿記、生活経営などを学び、理論と実践の両面から、経営に必要な考え方や視点を深く理解します。

デザイン工学部

建築デザイン学科

多様な人々の視点を盛り込みデザインする「インクルーシブデザイン」。その理論と実践を軸に、デザイン工学と芸術性を統合した「建築デザイン」を提案し、多様な人々にとって快適な生活空間をデザインできる専門家を育成します。

デザイン工学部

情報デザイン学科

社会が抱える課題やニーズは多様化しています。それらの解決に向けてソフトウェアやシステムの提案、デジタルコンテンツの制作など、情報工学と社会科学の知識を組み合わせ、解決策を「デザイン」できる人材を育成します。

